

初心者のための発達障害 用語集

「発達障害」とは 脳機能の不全によって起こるとされる発達領域の不調

* 発達領域：「認知」、「言語」、「社会性」、「粗大運動」、「微細運動」、「注意・行動のコントロール」、「学習」・・・

■ 注意欠陥／多動性障害

Attention Deficit/ Hyperactivity Disorder (AD/HD)

「多動」、「衝動」、「不注意」の特徴をもつ

■ 広汎性発達障害 ≡ 自閉症スペクトラム

Pervasive Developmental Disorder (PDD)

「社会性」、「コミュニケーション」、「イマジネーション」の3つ組の障害

その他「協調運動障害」「感覚異常」「多動・注意集中障害」を併せ持つことが多い

自閉性障害、アスペルガー障害など下位カテゴリーが含まれる

知的障害を伴わない (IQ70 以上) ものを高機能自閉症(高機能広汎性発達障害)と呼ぶ

■ 学習障害

Learning Disorder (LD)

知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち1つ以上の能力の習得に著しい障害があるもの (小学校就学後に診断されることが多い)

■ コミュニケーション障害(言語障害)

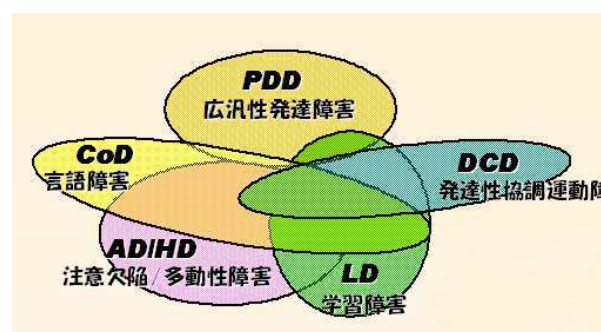
Communication Disorder (CoD)

言語の使用および会話が困難

■ 発達性協調運動障害

Developmental Coordination Disorder (DCD)

粗大運動、微細運動のコーディネーションの障害。不器用さとして表現される。



いくつかの障害を併せ持つことも多い
成長・発達により特性が変化することもある

■ 精神発達遅滞(知的障害)

Mental Retardation (MR)

全般的な知能の発達に遅れが見られ、かつ社会生活(学習)に適応できないもの。知能発達の遅れはIQ70未満と定義される。IQ70-85未満のものを境界知能と呼ぶこともある。

< その他の用語 >

■ **対人相互反応**

顔の表情、視線の合わせ方、姿勢、身振りなどの非言語的コミュニケーション、他人との感情の共有（共感）など、他者とのかかわる際に使われる基本的能力。広汎性発達障害では主にこの能力の欠如により対人社会性の障害が起こると考えられる。

■ **反応性愛着障害**

乳幼児期に長期間にわたり保護者との安定した愛着が形成されないことで引き起こされる障害の総称。反抗的、攻撃的行動が見られる一方で、他者に対して異様になれなれしい接近を示すこともあり、対人社会性領域で問題を認める。広汎性発達障害との鑑別が問題となる。

■ **反抗挑戦性障害 (ODD) oppositional defiant disorder**

幼児期から青年期にかけて、反抗的、敵対的、挑戦的な行動が著しいもの。ADHD など発達障害では途中から合併してくる確率が高い。

■ **行為障害 (CD) conduct disorder**

反抗挑戦性障害の程度が強くなり、実際の非行行動として表われるもの。ODD→CD→APD (反社会性人格障害) と局面が発展していく状態を DVD マーチ (破壊的行動障害マーチ) と呼ぶ。

■ **二次障害**

発達障害と関連したストレス状況を背景として生じている情緒・行動・精神面の問題を指す。自尊心低下、情緒の不安定、心身症、不登校、うつ、自傷など、さまざまな症状として表れる。

■ **PTペアレントトレーニング**

親を治療者として位置づけ、発達障害の症状に対して親が常に適切な対処ができるようにする訓練。主に ADHD や PDD をもつ子どもの親が対象となり、二次障害の予防に効果があるとされる。

■ **SST social skills training 社会生活技能訓練**

人との関わり方や状況に応じた対応の仕方を教える。小集団で、学習するスキルの内容、場面設定、指導方法などをプログラム化して行う。

■ **特別支援学級**

特別支援学校の対象にまでは至らない、比較的軽度の障害のある児童生徒に対して効果的な個別の教育を行うために設置されている。対象は知的障害、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害、学習障害。

《待合室および初めての先生にお勧め》

高機能自閉症・アスペルガー症候群 「その子らしさ」を生かす子育て
(中央法規出版) 吉田友子著 2009 改訂版

元々自閉症の子を持つ親向けの本ですが、全くの素人の開業小児科医が初めて読んで、何となく分かった気にさせてくれた貴重な一冊。いろんな症状の理解が深まること請け合い。この本に書かれた様々なエピソードを念頭に置きながら普段の診療をしていると、どの子もみんな発達障害の様な気がしてきます。でも、実はそれが正解！。全ての人の中に発達障害的な特性が隠れているのです。支援の言葉のボキャブラリーを増やすにも good。



**「あなたがあなたであるために
自分らしく生きるためのアスペルガー症候群ガイド」**
(中央法規出版) 吉田友子著 2005



待合室に置いたり、親御さんや患者さん本人への貸し出し用に。自分の子がそうだと初めて言われた親御さんにはまずこれを貸します。前半で理解を深め、後半では色々な物事に対する特別な工夫や問題解決法を具体的に学ぶことができます。ある親は「なるほど。こういう風にして問題解決してゆくんだ！」と。

「光とともに……自閉症児を抱えて」全15巻(秋田書店) 戸田けいこ著 2001-

自閉症の光くんの乳児期から中学生までの日々と、家族、周囲の人たちとの関わりを、漫画で描いてくれた作品です。周囲に理解されにくい「自閉症」について、多くの人たちに知ってもらえるきっかけになった作品ではないかと思います。まだお読みでない方は、一度ご覧下さい。うちでは待合室において貸し出しています。



《少し詳しく知りたい臨床医が手にとってみるとよいもの》

①子どもの心の診療シリーズ（中山書店）責任編集：齋藤万比古（2008）

第1巻：子どもの心の診療入門

第2巻：発達障害とその周辺の問題

（以下は参考）

第3巻：子どもの身体表現性障害と摂食障害

第4巻：子どもの不安障害と抑うつ

第5巻：子ども虐待と関連する精神障害

第6巻：子どもの人格発達の障害

第7巻：子どもの攻撃性と破壊的行動障害

第8巻：子どもの精神病性障害



②臨床家が知っておきたい「子どもの精神科」第2版 （医学書院） 編集：市川宏伸ら、2010年



③発達障害児の医療・療育・教育（金芳堂）第2版 編集：松本昭子ら、2009年

④ことばとこころの発達と障害（永井書店） 編著：宇野彰、2007年

